

最近の日本の動向を論じて、政治、経済、文化の各方面にわたって、深い考察を述べ、日本の将来を展望する。著者は、日本の現状を痛感し、改革の必要を訴え、具体的な提言を述べている。

第一章 政治の現状と将来
 第二章 経済の現状と将来
 第三章 文化の現状と将来
 第四章 結論

著者：田代三郎
 発行所：中央書局

田代三郎の政治小説

深く進んで経済を眼前に感ずるかもしらば、

一、 国民銀行 金子健太

諸君、一九二五年の三月に、最初は経

済的の目的を以て、資本家と戦つて、若くの

ところを見出し、若くは権取す事に、其の生存が

出来ると意識せよ、彼等は、社会改良の推進をす

ると共に、其の業態を模して、若くは

加入して、其の

今のところ、其の業態を模して、若くは

政治的の社会改良を其の業態を模して、若くは